

保健医療福祉政策論

単位数：2 単位（時間数：30 時間）

開講年次及び学期：1 年次後期

- 伊藤 智子：地域・老年看護学講座 教授
村下 伯：島根県浜田保健所 所長
馬庭 恭子：元 YMCA 訪問看護ステーション 所長
（地域看護専門看護師）
榊原 文：地域・老年看護学講座 講師

1. 科目の教育方針

看護管理者、CNS や大学院修了者などの高度看護実践者には、社会のヘルスニーズの変化に対応して看護の機能や役割を考え、未来の姿を創造していく能力、保健医療福祉等の関連サービスに携わる人々と連携・協働して活動する実践能力が求められる。さらには、問題の本質的解決のために必要な施策を提示し、施策化・制度化に繋いでいくマネジメント能力が求められる。

本科目では、少子・高齢化社会のヘルスニーズの変化に対応する保健医療福祉システムとその基盤となる制度・政策の動向と課題を踏まえて、現状を分析し、改善・改革すべき問題に焦点を当て、未来の医療・保健・福祉・看護等について考察する能力を習得する。

2. 教育目標

- 1) 少子高齢化が進行する我が国の保健医療福祉政策の動向及び、国民の健康の保持増進を支える政策・制度の重要性と課題について理解する。
- 2) 我が国の看護制度の歴史的変遷、及び国民の健康を支えるための看護制度・政策の重要性と課題を理解する。
- 3) 医療・保健・福祉・看護等の政策の動向と課題を踏まえて、現状を分析し、改善・改革すべき問題に焦点を当て、考察できる。

3. 教育の方法、進め方、評価等

【進め方】

講義は基本対面、必要に応じオンライン講義とし、以下のように進める。

- 1) 保健・医療・福祉・看護に関する政策を学習し、その内容を理解する。
- 2) 医療制度改革を踏まえ、医療現場の現状や課題、実施されている施策について自己学習し、そのレクチャーを基に、学生・教員とディスカッションを行う。
- 3) ディスカッション内容を踏まえ、医療現場（看護実践）の課題を考案する。

【評価】

・プレゼンテーション、レポートの緻密さ・的確さ・論理性等により総合的に判断する。

4. テキスト

- 1) 国民衛生の動向
- 2) 見藤隆子、石田昌宏、大串正樹、他：看護職者のための政策過程入門 第2版—制度を変えると看護が変わる—、日本看護協会出版会

《参考資料》

- ・国民の福祉と介護の動向、保険と年金の動向
- ・井部俊子他監修『看護管理学習テキスト⑦ 看護制度・政策論』日本看護協会出版会

5. 教育内容

※ 後期(木)18:30～20:00

回	月/日	内 容	講師
1	9/17(土) 11:00- 12:30	保健医療福祉政策論 ガイダンス 我が国の保健・医療・福祉制度の変遷 看護政策の現状と課題	伊藤
2	9/17(土) 13:30- 15:00	わが国の社会政策・制度 1) 超高齢社会における社会保障のあり方と課題 2) 超高齢社会の保健医療福祉を支える制度 (1) ・医療制度改革 ・健康日本 21 ・後期高齢者医療制度	村下
3	9/24 (土) 13:30- 15:00	3) 超高齢化の進展に対応した保健医療政策 (1) ・島根県の取り組み	
4	10/6(木)	超高齢社会の保健医療福祉を支える制度 (2) ・介護保険制度	伊藤
5	10/13 (木)	超高齢化の進展に対応した保健医療政策 (2) ・新オレンジプラン (認知症高齢者ケアの充実) 高齢者の生活課題と看護学研究	伊藤
6	10/20 (木)	課題のプレゼンとディスカッション①前半	伊藤 榊原
7	10/27(木)	課題のプレゼンとディスカッション②前半	伊藤 榊原
8	11/10(木)	課題のプレゼンとディスカッション③前半	伊藤 榊原
9	11/17(木)	課題のプレゼンとディスカッション④前半	伊藤 榊原
10	11/24(木)	課題のプレゼンとディスカッション⑤後半	伊藤 榊原
11	12/1 (木)	課題のプレゼンとディスカッション⑥後半	伊藤 榊原
12	12/8 (木)	課題のプレゼンとディスカッション⑦後半	伊藤 榊原
13	1/7(土) 9:30- 14:30	超高齢化社会であるわが国のヘルスケアニーズと看護 (広島からオンライン講義) * 超高齢社会の保健医療福祉の中での看護職の役割 ・病院から地域へ: 総合看護・継続看護で健康生活を支える ・end of lifeを支える: 訪問看護、在宅、施設における看護の充実 ターミナルケアの充実	馬庭
14			
15			
		課題レポートの提出 1月13日(金) 〆切	

受講生の人数によって内容を変更することがある